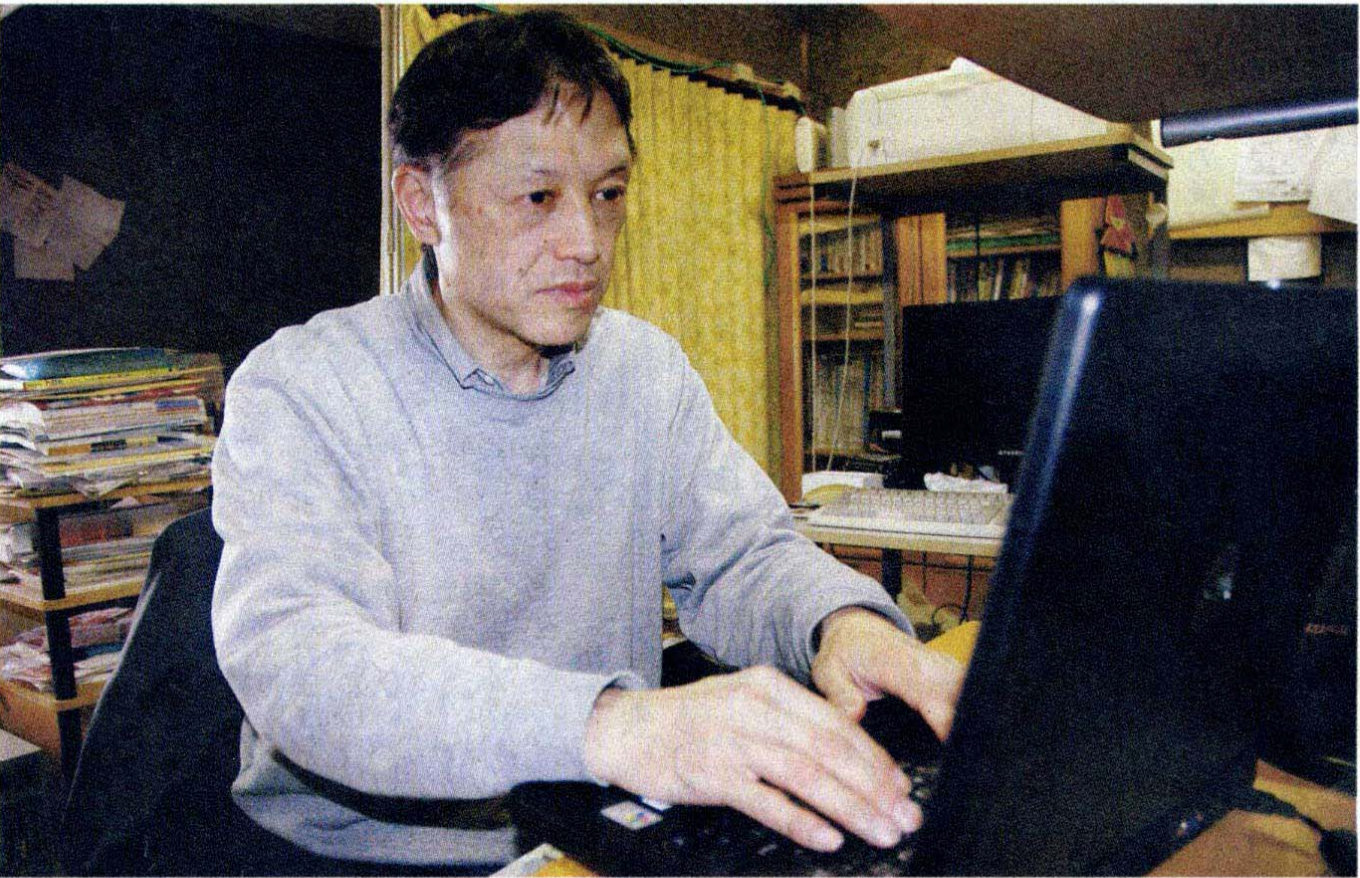


洋野の今、ブログで紹介

麦沢さん 出身者と町の「橋渡し」



ブログで洋野町の被害状況を伝え続けている麦沢忠美さん
＝15日、洋野町種市の事務所

洋野町の景色や観光スポットをブログで紹介している同町のパソコン関連業麦沢忠美さん(五〇)は、東日本大震災後、津波被害の大きかった沿岸部の様子を連日伝えている。1日のアクセス件数は600～800件と、震災前から倍増。首都圏などの町出身者からのコメントも多数届いた。「沿岸南部に比べ、洋野は被害が少なかった分、

絆 あしたへ

メディアへの露出も少ない。町と情報を求める人との「橋渡し役」だと思っ
て取材を続けたい」と意欲を燃やしている。

り、震災翌日の12日夜までのアクセス数は2千件を超えていた。「町出身者を安心させるためにも、もっと取材しなければ」と感じた麦沢さんは、13日から被害の大きかった漁港などを見て回った。

骨組みだけが残った水産加工場や無残な姿となった車などの写真を多めに掲載し、洋野の現状を余さず伝えた。3月下旬からは、港での復旧作業や魚市場再開の様子を書き込み、復興に向かう町の様子を取り上げている。

麦沢さんは洋野の魅力を多くの人に知ってもらおうと、2008年3月にブログを開

「生まれ故郷が目前で破壊され、震えが止まらなかった」という。停電によりパソコンが使えなかったため、携帯電話でブログを更新。「地元の現状をもっと教えてほしい」

震災当日の3月11日

「〇〇さんの安否は分

は、高台にある町役場種市庁舎付近で津波を目撃した。夢中でシャッターを切ったが、

次々に書き込みがあ

に縁のあるみんなが元気にしている」と張り切